

令和 5 年 7 月 5 日

「地域×データ」実践教育推進室 設立記念シンポジウム 「足とデータで地域の未来をひらく」

福島大学では、福島の課題解決に資する全学的な実践教育プログラムを開発・運営するため、教育推進機構に新たに「『地域×データ』実践教育推進室」を設置しました（6月記者会見で発表済）。同推進室の設立記念シンポジウム「足とデータで地域の未来をひらく」を、8月10日（木）に本学L4教室にて実施します。学内外を問わずどなたでもご参加いただけますので、ぜひ事前の告知および当日の取材をお願い致します。

シンポジウム概要

■日時 令和5年8月10日（木）14:00-16:50（予定）

■会場 福島大学L4教室

■定員 180名（事前申込制・先着順）

学内外を問わずどなたでも参加可、無料。事前申込制・先着順。

■シンポジウムの内容

・基調講演Ⅰ「今を乗り越え、その先へ」

川内村 遠藤 雄幸 村長

・基調講演Ⅱ「政策ゴールとしてのウェルビーイングとEBPMの重要性」

東京大学公共政策大学院 宮木 幸一 特任教授

・パネルディスカッション「血の通ったEBPM人材を育てるには」

遠藤村長、宮木特任教授、本学教員・学生

■参加申し込み方法

別紙チラシのQRコードからフォームで申し込み。

または電話 024-503-2014（福島大学「地域×データ」実践教育推進室）

（取材等のお問い合わせ先）

「地域×データ」実践教育推進室

室長 前川直哉（教育推進機構 准教授）

電話：024-548-8211

メール：miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp



足とデータで地域の未来をひらく

福島大学「地域×データ」実践教育推進室

設立記念シンポジウム

日時
2023年

8月10日 木
14:00~16:50

会場

福島大学 L4教室
福島市金谷川1番地

**参加
無料**



定員

180名

事前申込制・先着順

下記URL、または右記QRコードよりご登録ください
<https://forms.gle/9dkqspagC3YgHraa6>
学内外を問わずどなたでも無料で参加いただけます

申込期限:8月7日(月) ※お申込み状況で変更になる場合がございます

シンポジウム
内容

基調講演Ⅰ 「今を乗り越え、その先へ」

川内村 遠藤 雄幸 村長

基調講演Ⅱ 「政策ゴールとしてのウェルビーイングとEBPMの重要性」

東京大学公共政策大学院 宮木 幸一 特任教授

パネルディスカッション 「血の通ったEBPM人材を育てるには」

福島大学では、福島の課題解決に資する全学的な実践教育プログラムを開発・運営するため、教育推進機構に新たに「『地域×データ』実践教育推進室」を設置しました。新たな教育プログラムでは、地域の現場に根差しながら地域課題を実証的に発見・分析・解決する力を身につけ、地域におけるEBPM(Evidence Based Policy Making: 証拠に基づく政策立案)に精通した、福島の復興・創生を牽引する人材育成を目指します。

設立記念シンポジウムでは「足とデータで地域の未来をひらく」と題し、震災・原発事故からの復興において最前線で指揮を執ってこられた川内村の遠藤雄幸村長と、

話題の新刊『多数派の専横を防ぐ 意思決定理論とEBPM』(2023年、日本経済新聞出版)の著者である東京大学公共政策大学院の宮木幸一特任教授から基調講演を頂き、さらに本学の教員・学生を交えたパネルディスカッションを行います。シンポジウムはどなたでもご参加頂けますので、ぜひお申込みください。



川内村
遠藤 雄幸 村長



東京大学公共政策大学院
宮木 幸一 特任教授

問い合わせ

福島大学「地域×データ」実践教育推進室

TEL: 024-503-2014 E-mail: miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp